

補助事業番号 20-2-398

補助事業名 平成20年度 音楽体験による知的障害児の地域生活支援補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人ストロベリーハート

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

知的障害者(児)は、在学時には、健常児と隔離され地域から遠く離れた養護学校に通い、卒業後は一般就労が厳しく、どうにか就職できても3K(汚い、臭い、暗い)と言われる職場が多く、ともすると厄介者扱いされる者が多い。就職できなかった者は、作業所や授産所に通い、地域の人々と触れ合う機会は皆無と言ってよい。

こうした知的障害者(児)の現状を踏まえ、本事業は、音楽が大好きな知的障害者(児)が、多くの仲間と共に音楽を楽しむ中で自らの可能性やよさに気づき、仲間と共に地域社会の一員として、将来に渡り、心豊かに逞しく生きていくことのできる力を育む機会とすることを目的として実施した。

知的障害者(児)の中には、音楽に特別に興味関心を示す者が少なくない。彼らは日頃、家に閉じこもり独りでCDを聴いたり、踊ったりして、その多くは外に知られることがない。

したがって、彼ら自身も大好きな音楽を通して自分のよさや可能性を発見できることを知らないでいる。彼らが住む地域の人々にとっては、彼らのよさや可能性に気づかされる機会は皆無と言ってよいのが現状である。

同じ国や地域に生まれ育つ人間として、障害の有無にかかわらず、人にはその人なりによさや可能性がある。そのことをお互いが理解し認め合うことで、「美しいものに感動する心」や「生命を尊ぶ心」や「正義を愛する心」、「自らを律し他人のために役立つ心」とする心が満ち溢れた福祉コミュニティを形づくることができる。

本事業はこうした点で、知的障害者(児)本人にとっても、事業に携わるボランティアにとっても、大変に意義深い事業であると考えた。

知的障害者(児)の親子が長瀬げんきプラザを利用して、障害児の音楽教育に永く携わってきた指導者のもとに、彼らの障害特性を踏まえたさまざまな音楽体験を1泊2日に渡って行った。

知的障害者(児)本人には、様々な音楽活動にできる限り能動的に取り組む中で大好きな音楽をますます好きになってほしかった。さらには、音楽を好きになると同時に、音楽に取り組むのと同じように、生活全てにおいても自信を持って自らチャレンジしようとする意欲や姿勢を身につけてほしいと考えた。

参加した親たちには音楽活動に取り組むわが子の生き生きとした姿を通して、わが子が秘めた可能性やよさに気づくことで、その後の子育てをより良いものにほしかった。

以上の内容を目的として、本事業を実施した。

(2)実施内容

- ア. 理解啓発事業名 : 「知的障害者のための音楽体験セミナー」という名称で実施した。
- イ. 実施期日 : 平成 20 年 8 月 2 日、3 日の 1 泊 2 日で実施した。
- ウ. セミナー会場 : 埼玉県立長瀬げんきプラザにて実施した。
- エ. セミナー対象者 : 中学生以上の音楽が好きで知的にハンディを持つ者とその親を対象に参加者を募集した。
- オ. ボランティア募集 : 知的にハンディを持つ人々との音楽活動を通して彼らのよさや可能性を理解したいと考えている学生さんや社会人の方々の参加を募った。
- カ. 音楽指導者 : 山梨県立大学教授「佐野ゆかり」先生をはじめとする 8 名の障害児の音楽指導にかかわる専門の知識技術を身につけている先生方ならびに障害児教育に従事している先生方に依頼した。
- キ. セミナー参加者数 : 総勢 52 名で実施した。
- ク. 主催者 : 特定非営利活動法人ストロベリーハートが主催した。
- ケ. 事業資金支援 : 本事業は JKA の「平成 20 年度音楽体験による知的障害児の地域生活支援補助事業」としての助成金を受けて実施した。

2. 予想される事業実施効果

今回の企画に対する反響は大きく、川越市内にとどまらず他の市町からの問合せも数多くあり、募集締切日の半月前には定員に達した。その後も、参加希望者からの問合せが数多くあったが、次回の機会にとお断りをした。

ボランティアについても、いつも本会の事業に協力してくれている大学生だけでなく、様々な教育現場等に携わる社会人が、身近に抱える問題解決のための研修の機会ととらえ、数多く参加してくれた。

事業終了後に、参加者から寄せられた感想は総じて好評であった。

今回参加した親子からは、今後、同様の催しがあれば再度参加したいとの感想を数多くもっていることから、本事業の実施目的を十分に理解していただけたものと考えた。ボランティアからも良い勉強の機会になったとの声があり、今後も参加を期待できた。指導者からも、本事業に対する意義と、こうした機会を設けてやり遂げた本会に対する評価と期待が大きく、今後とも支援が期待できる結果だった。

3. 本事業により作成した印刷物

- 本事業の参加者全員から任意で提出していただいた感想文をもとに文集を 55 部作成し、参加者ならびに関係各機関に配布をした。
- 本事業に関する記事を掲載した会報を 300 部作成し、本会のすべての会員(育正会員、正会員、賛助会員、広告賛助会員)ならびに 17 の市内公民館にて市民に配布した。

○本会のホームページ上で、本事業についての紹介をした。

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名：特定非営利活動法人ストロベリーハート

住 所：埼玉県川越市的場 418-1

代表者名：代表理事 高橋由紀

担当者名： 同上

電話番号：042-290-8780

F A X：042-290-8780

E-mail：strawberry-h@y5.dion.ne.jp

U R L：<http://www.ac.auone-net.jp/~ihigo5>